

## 令和3年度保護者評価アンケート結果を受けて

野っこ

日頃より 野っこの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

毎年保護者様にこのようなアンケートをお願いし、その結果を皆様にお返しするとともにとこっ子のHP上に掲載させていただいております。

今年度もお忙しい中、多数の保護者の方々に『放課後等デイサービス保護者評価アンケート』へのご回答をいただき、ありがとうございました。アンケートの結果や記述いただいたご意見を参考に、子どもたちが見通しを持ちやすく、楽しみながら成長できる療育の場を提供できるようにしていきたいと思っております。保護者の皆様のご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

③【事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか】

Q:(いいえ)玄関にスロープ・手すりがあるといいと思います。

A:野っこには身体的にスロープや手すりがなければ玄関を上り下りが出来ない子はいらっしゃるの、階段の上り下りが難しい子に対し、職員が安全面の配慮をすると共に目線の位置・身体の動かし方などのその子が持っている能力を強化することで、階段の上り下りが難しい子へ対して、安全に階段の上り下りが出来るようになるにはどうしたらいいのかを考え支援を行わせていただいておりますので、ご理解いただけると幸いです。

⑥【放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか】

Q1:(いいえ)コロナ禍と言うことも有るがこれからやっていってほしい

Q2:(どちらともいえない)はっきりしたことは分かりませんが、中々難しいのではと思っておりました。

A1:ご配慮ありがとうございます。世間でのコロナの状況も考慮させていただき、地元の公園や児童館での活動は再開させていただきたいと思っております。

A2:障害のない子に障がいに対しての理解を踏まえてもらい活動を一緒に行うことは場合によっては難しいことだと職員間でも課題として持たせていただいております。できる限りお互いに良い関係を築き、職員が仲介する形で障がいのない子と関わる機会は設けていけたらと思っております。

⑧【日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い発達の状況や課題について共通理解が出来るか】

Q:(どちらともいえない)面談の時に話をするようにしていますが、共通理解がすべて出来ている

かという所では難しいと思います。大事なところは話をしています。

A1:おっしゃる通りで、すべてというと確かに難しいと思います。野っこでの支援方法・子どもたちが抱えている課題、想い・ご家族の想いなど、大事なところを見落とさないようにしていきたいと思っておりますので、気になる点やご不明な点があればいつでもお声掛けください。

⑩【親の会の活動の支援や、保護者同士の交友の場の提供などがされているか】

Q:(どちらともいえない)日にちが少ないので仕事等でいけないことが多い・(はい)なかなか参加できません(仕事がある為)

A:法人全体で、日曜日定休日ということもあり、お仕事をされている保護者の方には参加したくても難しいという意見は前々から伺っております。現在は月曜日～土曜日に分け研修の方を開催させていただいておりますので、お日にちが合いましたらご参加いただけると幸いです。

⑮非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練が行われているか

Q:(どちらともいえない)感染症についての対策をもっとしっかりしてほしい。また保護者への報告をこまめにしてほしい。

(今回のコロナの件はちゃんと報告されずに終わっている)

A:感染症対策については新しく作成した『新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』を基準とし、感染予防の徹底をさせていただくと共に、子どもたちには、お迎え時の検温・体調チェックや手指消毒の実施に事業所へ入る前の電解水での手洗いをご協力お願いしております。

事業所内ではマスクの着用・密閉した空間にならないよう常に換気をする・磁場でウイルスを死滅させる機能を持った空気清浄機(エアドッグ)や酸性電解水の噴霧器を稼働させることで、空気感染のリスクを抑え、昼食・活動中に子ども同士が対面にならないよう注意する。終業後には、その日使用した玩具・触れた場所はその日のうちにアルコール消毒を行うようにするなど、様々なリスクも念頭に置き可能な限りの感染予防に努めております。

今回のコロナの詳細につきましては、連絡の対応など後手に回ってしまい保護者の皆様へ不安な思いをさせてしまい申し訳ありません。現在ではコロナ感染者発見から保護者の方への連絡のマニュアルも作成させていただいており、必要な情報をご連絡できるようにさせていただきました。

⑯子どもは通所を楽しみにしているか

Q1:(どちらともいえない)高学年になってきたので家で過ごしたい日が増えてきました。行ったら楽しそうに帰ってきます。いつもありがとうございます。

Q2:(どちらともいえない)学校生活では出来ない事を野っこでは活動していると思っています。子どもがどうして野っこに来ているのだろうと思っているようです。

A1:今後も年齢の変化や好みなど、その子その子で楽しめる活動を設定していけるよう、日々意識して計画を立てるようにさせていただきます。

A2:ご理解いただきありがとうございます。子どもたちには楽しみながらも目的意識を持てるように何のための活動なのかを職員から意識して伝えるようにしていきます。

#### 【全体を通して】

子どもたちの成長には保護者の方のお力なくしては成しえないことも多々あります。その中で思い通りにならない事に腹を立てる・今まで気にならなかったもの(認識していなかった)が気になって動けなくなる・年齢、身体が大きくなるにつれ動くことに対して億劫になる・性への興味など、成長することにより個々が抱える様々な困りや問題があると思います。保護者の方々にはご家庭で気になっている部分などありましたら、お電話していただく・連絡帳へ記入するなど、ご一報頂けると助かります。

野っこを安心して利用していただく為に、今後も保護者の方々の評価と自己評価を行い研鑽に努めて参ります。沢山の気づきを頂けたことに感謝いたします。

今回ふれていない点に関しても、疑問な点が有りましたら、随時対応させていただきます。今後とも宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人とっこ子 野っこ  
澤田 湖澄茂